

SINCE 2005

**Vol.233**  
monthly issue

# かしも通信

September 2024



**特集** かしも明治座130年

**「明治座」本を作っています**

# 明治座

## 「本」を作っています

かしも明治座は、今年十二月で創建百三十年を迎えます。区切りの年なので、かしも通信特別編集班で「明治座」という本を作るため、縁のある方々にお話を聞かせてもらっています。どんな思いで制作しているのか、我が編集長 秦雅文さんに聞きました。



昔は歌舞伎が楽しかった

つぶしてしまうという時もあった!

今ごろ明治村に明治座があったかもしれないのだ

シロウトらしからぬ芸の持ち主

地歌舞伎からブコの歌舞伎役者になった人もいる

クラシックコンサートも26年続いている

だれ?

### ラインナップは?

明治座建設、明治座保護会、加子母歌舞伎保存会のこと、市川團十郎監修三年通し狂言「袈裟と盛遠」のこと、団升師匠のことなど歌舞伎に関わる懐かしいあれこれ。通年開館や平成の大改修、青年団活動、明治座クラシックコンサートなど。加子母の方だけでなく、松本団女師匠、歌舞伎役者の市川笑三郎さん・中村歌女之丞さん、バイオリンストの白井圭さんからもお話を聞きました。明治座名譽館主中村七之助さんからも挨拶をいただける予定です。過去のかしも通信の記事から抜粋して載せています。写真もたくさんで見やすい紙面を心がけています。

### どうして本を作ろうと思ったの?

明治座の歴史やこれまで行ってきたことと関わった人達を文章で残したいんです。ちょっと前のことでも、もう分からないことがたくさんあります。だから今、形に残しておかないと。後々、明治座で何かやろうと思う人の参考や発見の元になればと思います。取材してて発見することがたくさんありました。

■例えば、団升師匠のことを聞くと、誰でも「舞台上を飛び回って教えてくれて凄かった!」って話してくれる。でも自分は団升師匠が引退される一年前位の姿しか知らなかったけど団升師匠の舞台にかけた情熱を感じることができた。

■なめくじ祭りの伝説を歌舞伎にしたオリジナルの三年通し狂言「袈裟と盛遠」は先

### 代の市

川團十郎さんが監修しています。脚本もこの為に書き下ろしたのもう二十五年以上前になります。歌舞伎役者の市川笑三郎さん・中村歌女之丞さんに話を聞くと、大歌舞伎の役者と地元

の素人役者が一緒に舞台上に立つのは、日本全国どこにも無い。今でも考えられないことだと思うが、当時実現しているのはすごいことで、日本全国に芝居小屋がありますが大歌舞伎の役者とそういう交流があるところは他にないと思うと教えてくれました。でもこの話もどこにも残っていないので、そのうち知らない人ばかりになってしまふ。勿体無いじゃないですか。だから形に残したいと思って。

### 取材して気持ちが高まる

今回、クラシックコンサートのことを白井圭さんにインタビューしたかしも通信メンバーは、話を聞いたことで親近感が湧いて、白井さん個人の活動である「鶴沼アカデミー」のサポーターになっていました。鶴沼アカデミーで白井圭さんがやりたいこと、明治座のクラシックコンサートがシンクロしていて、加子母でやってきた事が出発点になってい

### 発掘して行く面白さ

明治座には、貴重な面白さが詰まっています。二十年前のことさえ、ほとんど埋もれていきます。せっかく加子母に住むなら、掘ってみる価値があると思います。

### 面白さ

掘ってみる価値があると思います。掘るかどうか、知るか知らないかで全然違う。「歩を踏み出して、面と向かって話しちゃって、何かが始まっちゃう。そういうキッカケの「入り口」を作りたい。「歩踏み出すかどうかはその人の自由だけど、入り口だけはたくさん開けておきたいと思っています。

### 歌舞伎の面白さをより深く

個人的には、本作りのため普段話を聞く機会のない人にも思い切った話を聞きにきました。今まで知らなかったいろんな話を聞けて、歌舞伎についても深く考えることができました。歌舞伎は四百年の歴史を持つだけあって完成しているのです。笑いにも型がある。地歌舞伎では団升師匠は楽しむために派手にオーバーに振り付けているという。素人でもやれるように。アドリブに見えるところも実はちゃんと決まっている。「二つの振りをやってみるとちゃんと拍手がもらえるんです。自分達では作れないもの(振りなどの演出、型)ができていて、地歌舞伎の中にはそれが詰まっている。しかも加子母歌舞伎は役者として誰でも無料で体験できる。役者をやらなくても分からない事がたくさんあって、それを掘っていくと、面白い事や次の衝動が生まれてきます。

十月二十七日の「第五十回 加子母歌舞伎公演」までには、完成する予定です。ぜひ楽しみにして下さい。

【文責本間】



キツネが住んでいた



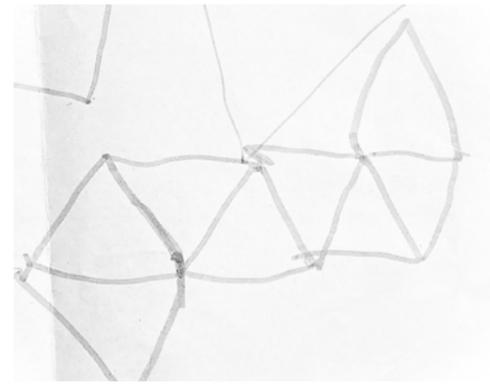
### 今年のなめくじ祭りレポート

今年は2024年8月12日(月)になめくじ祭りが開かれた。加子母の小郷にある文覚上人の墓に旧暦の7月9日(9万9千日)になめくじが這い出ると言う祭りだ。祭りの縁起になっているお話は調べると映画になっていたり、文献として残っているのご存知無い方は調べて見てほしい。昭和55年には110匹以上のなめくじが出ていたそう。今年は目視できたのは1匹だった。人から聞いた話では5匹は確認できたようだ。なんだか1匹でも見れると安心するのは小郷に住んでいるからだろうか。

さて、今年のなめくじ祭りは非常に活気があった。日下部音楽教室による演奏は会場全体が盛り上がる。また、地元民のバザーに活気があった。串カツやビールだけでなく、最近小郷で流行っている翠ジンソーダなどに加え、ピザまで出ていた。しかもうまい。かつては”ひきだ”等が出ていたなめくじ祭りだが、令和の今でも食に対する小郷の人たちのこだわりを感じた。

恒例のくじも予定より1時間ほど早く売り切れになったそう。買った5枚のくじの中からなんと2等が当たった!20年以上前に2等の一輪車を当てて以来の快挙だ!今年の2等は前から欲しかったスチームアイロンだった。しかし、一緒にくじを引いた保育園児の姪っ子が2等に大喜び。結局2等は姪っ子のものになり、スチームアイロンは祭りの終わりとともに愛知県へと嫁入りした。他者に施しを与える事ができた良い祭りとなった。

お祭りの役の皆様お疲れ様でした。楽しい祭りをありがとうございました。



### 佐野智哉のキツキノート

まだまだ暑い日が続きますが、息子は毎日のように昆虫と植物の採集に夢中です。暑いので程々に家に帰ってくるのですが、家ではなぜか三角形をいくつも描いています。何を描いているかと思うと、どうやら正八面体ということらしいです。三角をいくつも描いてはハサミで切り取って、セロハンテープでペタペタはって、立体をつくっては満足しています。他にも直方体や円錐などの図形もつくっていますが、正八面体が一番のお気に入りのようです。

まだまだ本能のままに、やりたいことをやって過ごしているので、それが展開図ということがちょっぴり不思議です。

前から図形や折り紙が好きだったりしたので、その流れから興味のつながりは頷けるのですが、次は何をやって満足しているのか、そんな些細な変化が楽しみです。

### かしも紀行 里山スケッチ

### 加子母民謡「セッセノセ」

まだ、上の子が幼稚園に通う頃、加子母に3年程住んだ。7月から8月にかけて、夕方になるといろんな所から盆踊りのお囃子が聴こえてくる。私もソワソワして娘の手を引いて、薄暗い田んぼ道を音のする方へ歩いていく。今はコミュニティになっている、元小学校の周りだけが明るく、人々の笑い声が聴こえる。校庭の真ん中には櫓が組まれ、その周りに浴衣姿の人達の輪があり、踊る人影が提灯の光にゆれていた。カセットの音に馴染んでいた私は、櫓の上の笛や太鼓の生演奏が素敵な驚きだった。

時が過ぎて、夏祭りに、孫と行く頃になって、縁あって、私も櫓の上で演奏させてもらえるようになった。

今年の課題曲は、加子母に住んでいる少年配の方なら誰でも知っているはずの「セッセノセ」。実は、踊飛連(演奏するグループ)に参加させてもらって10年ほどになるが、私がいってからは、一度も盆踊りで演奏された事はなかったとおもう。

踊れ輪になれ加子母の人のアッセッセノセ  
 心みたいにサマヨまんまるくアッセッセノセ  
 ア半分焼いたセ ソレ全部焼いたセ アッセッセノセ  
 今の音頭はどなたじゃ誰じゃアッセッセノセ  
 お名を名乗れよサマヨ名を名乗れアッセッセノセ  
 ア半分焼いたセ ソレ全部焼いたセ アッセッセノセ  
 お名を名乗るも恥ずかしけれどアッセッセノセ  
 私や木曾谷サマヨ杉のもとアッセッセノセ  
 ア半分焼いたセ ソレ全部焼いたセ アッセッセノセ

今も上桑原に木曾谷稲荷があるが、今から260年程前の宝暦の時代、その稲荷様の近くに大杉があったそう。その大杉の根元に住み着いた狐が盆踊りが大好きで、上手に音頭をとって踊ったそう。でも、大火で大杉が焼失してしまい、たぶん、狐も焼け死んだのだと思う。村民もたいへん悲しんで、「半分焼いたセ、全部焼いたセ」と唄って後世に残したそう。焼畑の作業を唄ったという別の説もあるが。

「セッセノセ」が唄われ始めたのが260年程前。時にはお休みする事があっても、ずっと、加子母の人達の中で、踊り、唄い継がれている加子母独自の民謡、「セッセノセ」を残していけたらと願った。



### 小郷の畑から なかよし家族 丹羽泰子

最近の夏は暑いけど、今年は格別暑い。その中でどうやって農作業をしているか?というと、草刈りの時は、首に濡れたタオルを巻いて、布マスク濡らして(顔に泥が飛んでくる予防)長袖、長ズボン、汗かく覚悟でやります。

飲み物は、梅シロップを水で薄めて自然塩を入れ、ビタミンCがあれば追加。または梅酢を薄くして、常温で。梅が入ると胃がダボダボしない。

3時間草刈りしたある日、2L飲んだのに体重は500g減ってた、という事は2.5Lの汗!?

草取り作業の時は出来るだけ長靴をやめて、裸足。これでかなり楽です。マルチの上は火傷するので要注意。草の上が気持ち良い。足の裏から電磁波や、他の毒も抜けて行きます!!

まだ暑いけど、庭のコスモスがもう咲いてました。カエルの声がコオロギに変わり、トンボもいっぱい飛んでますね。秋までもう少し!! 頑張りましょう

### かしも通信文芸

- 川柳 事易く運んで団扇動き出し 梅田泉水
- 川柳 胎動の女の悔いの新たなり 佐藤狂浪
- 川柳 晩酌の障子に月の影つるむ 安江湖水

**編集後記**  
編集長/秦雅文

明治座130年の間にどんな人がどんなことをして来たのか掘り起こしてみると、過去の人の情熱が湧き出てきて興味深い。

盛り上がった時ばかりではなく、明治座がいなくなった時代である。取り壊し寸前でピンチを乗り越えたおかげで、今も明治座がある。いつの時代も人の出会いと行動が原動力になっている。

現在もクラシックコンサートや地歌舞伎の反響は大きくなってきて、傍目にはうまくいっているように見えるかもしれないけど、常にギリギリのところをやってる。

歌舞伎も今年も国民文化祭で清流座での公演が決まっているけどメンバーの一人が参加できなくなるアクシデントもあり、僕のモチベーションは一旦落ちた。でもこうやっていろんな人と話をするうちにまた前向きになってきた。

初めて会った市川笑三郎さんと銀座で3時間も喋っていた。行動しなければ中村歌女之丞さんと二人で飲みながら話をするなんてこともなかっただろう。

やりたいと思った時に、「かしも通信」は最初の一步を後押ししてくれる魔法の杖のようだ。

何の役に立つのかはわからないけど、やって良かったとは思う。

**かしも食堂**  
昔から伝わる絶品料理を紹介!  
食には文化があらわれる。

**きゅうりの佃煮**

今年の夏は暑い!夜になっても30℃あり。エアコンないと生活出来なくなった。料理もしたくない。そんな時、ラインできゅうりの佃煮が回ってきた。はて? 20年ぐらい前に福岡できゅうりの佃煮が流行していた。なんできゅうりで佃煮を作るのが気持ちがわからなかった。でも、今年の夏は、超暑いし、値段が高くて買い物も控えている。家であるものを料理したい。きゅうりの佃煮もありかな!? 一度作ってみてはどうでしょうか?醤油100cc、砂糖100gは昔の煮物黄金比。味が濃いけど、この夏にはいい。おばあちゃんの味がする。(笑)

**材料 一人分**

- きゅうり(絞しぼったもの)400g
- 濃口醤油 100g
- 砂糖 100g
- 五倍酢 小さじ1
- 紅生姜 50g
- あじめこしょう 1本

**作り方**

- ①きゅうりを薄い輪切りにして、塩で揉み、水気を絞る。
- ②調味料を煮立てできゅうりを入れる。強火で煮汁なくなるまで煮る。
- ③紅生姜、あじめこしょうを入れる



加子母の美味しい料理や昔の料理など教えてください。  
福井三月 ☎ 0573-79-2627

小郷 けいちゃんの  
**こざと**

お持ち帰りも好評です!

Tel: 79-3618  
(サブロクジュウハチ)  
定休日 月・火曜日



**ニワデン**  
(一財) 岐阜県消防設備協会 会員

- 消火器の点検、販売、廃棄処分ご相談ください。
- 悪質な消火器の訪問販売にご注意を!

Tel. 79-2285



かしも通信  
2024年8月25日発行 No.233

- Publisher Hara Yuumi
- Editor in Chief Hata Masafumi
- Deputy Editor Honma Kiyoko
- Editors Tanaka Hiroko, Sato Yoko, Sano Tomoya, Fukui Yayoi, Ichihashi Yusa, Fukui Rie, Taguchi Sachiko, Niwa Junichi
- Correspondent Zenda Nao
- Illustrator Honma Kiyoko

**かしもっ子だよ全員集合!**

**中** 学校 ▶ 予測困難な将来に向けて中学校ではキャリア教育に力を入れています。第1学年の生徒は「ふるさと加子母に学ぶ」第2学年の生徒は「働く人の思いに学ぶ」第3学年の生徒は「自分の生き方と未来について考える」というテーマで取り組んでいます。

7月9日(火)には小中合同で、ザ・カナディアンクラブ 志津利弘さんによる「やりたいことを やり続けるために」というテーマで、夢を叶えるために仲間の夢も大切にしてきたこと、地元に着しながら広い範囲で芸能活動をしているお話を聞きました。

7月16日(火)にはベストセラー「読むだけで人生が変わる『すぐやる』思考術」の著者河原哲史さんに、働くということはどういうことか、持続可能な働き方をするためのポイント、聞き方・話し方のワークショップも行いました。

その他、第1学年は内木哲朗さん桂川洋策さん、第2学年は廣野満貴さん、安江愛子さん、第3学年は原田佳苗さん、山本明斗さん、小島未来さん、内木健二さんからお話を聞きました。どの講話も様々な視点からの引き込まれるお話で、将来に希望をもち多様な考え方を知ることができました。

**小** 学校 ▶ 7月12日に、3年生が明治座へ見学に行きました。普段は見られない舞台裏や地下、2階席などを見学しました。1人1台のタブレットを持って、舞台装置や小道具など、初めて見るもの、不思議なものを写真に撮ってきました。明治座の方と歌舞伎役者でもある担任から説明を受け、本物に触れることができました。これから総合的な学習の時間を使って、一人一人が探究テーマを設定して、明治座と歌舞伎について学んでいきます。

**こ** ども園 ▶ 7月13日(土)は加子母こども園保護者会による「夏まつり」でした。1ヶ月以上前から役員の皆様が時間を作って少しずつ準備をすすめてくださいました。前日も保護者の皆様にお手伝いいただき、本番を迎えることができました。当日は商工会議所の方々・木匠塾の方々・中学生ボランティアの生徒さん達のお力も借りて「夏まつり」スタートしました。オープニングは役員さんによる「エビカニクス」のダンス。子ども達も大喜びで始まりました。園児の出し物ではリズム体操や歌を披露しました。会場の皆さんにたくさんの拍手をもらい、盛り上がりしました。

お店のコーナーでは木育・ペン立て作り・輪投げ・スーパースポールすくい・ヒモひき・射的・ダンボール迷路...とたくさんあり、楽しかったお店は何度も挑戦していました。

最後に中学生ボランティアの生徒さんによる「ソーラン節」を見せてもらいました。生徒さんの迫力のある踊りに子ども達も見入っていました。親子で一緒に楽しい一時を過ごすことができました。

乳幼児 ▶ 【加子母・付知子育て支援センター くるりんば】感染症拡大防止対応の「くるりんば開放日」を設けています。詳しくはこちらから→



中 キャリア教育レポート



小 3年生が明治座の見学へ行きました



こ 保護者会 親子夏まつり



## 9月の行事予定

1	日	防災訓練(7~)
2	月	6か月児相談(福岡保健センター) 【こども園】ALT訪問 【中学校】PTAあいさつ運動 【中学校】スクールカウンセラー来校(午後)
3	火	【こども園】かしもっこ広場
4	水	
5	木	乳幼児なんでも相談(付知福祉センター) 【こども園】食育指導(年長) 【小学校】4.5.6年命の授業(前田動物病院院長先生を招いて)
6	金	
7	土	
8	日	大型・有害ごみ(9~13)
9	月	【小・中学校】家庭学習がんばり週間~13日 【中学校】スクールカウンセラー来校(午後)
10	火	【こども園】身体測定 【中学校】PTA本部役員会
11	水	1歳児相談(付知福祉センター) 【中学校】1年生モクモクセンター見学
12	木	【こども園】避難訓練
13	金	【こども園】祖父母参観 【中学校】前期期末テスト
14	土	【こども園】老人クラブ奉仕作業 【小・中学校】PTA環境整備作業
15	日	不燃・硬質・資源ごみ(17~18) 軽トラ朝市(9~12) 県民スポーツ大会(弓道大会) 家庭の日
16	月	敬老の日
17	火	【小・中学校】小中交流会
18	水	
19	木	3歳児健診(福岡保健センター)
20	金	【こども園】誕生会 【中学校】1年生プレカット工場見学
21	土	
22	日	秋分の日 水無神社秋の例大祭
23	月	振替休日
24	火	人権相談(13~15) 【中学校】栄養職員による食育指導
25	水	区長会(14~) BCG予防接種(福岡保健センター)
26	木	
27	金	【中学校】英語検定
28	土	
29	日	加子母文化祭
30	月	

## こちら総合事務所です

このページでは、加子母総合事務所からみなさんへ、地域に密着した情報をお知らせします。  
みなさんの身近な地域情報をお寄せ下さい。(加子母総合事務所:0573-79-2111まで)

### 第3回 加子母の花風景写真コンテスト開催

加子母の花咲く風景写真のコンテストを開催します。たくさんのご応募お待ちしております。

- ◆応募期限 令和6年11月1日(金)
- ◆応募対象 加子母在住の個人、区、班、グループ
- ◆応募方法 写真はA4サイズに印刷して、裏面に、氏名(代表者)・住所・電話番号を記入してください。団体の場合は、区、班、グループ名も記入してください。写真データの提供もできるだけお願いします。
- ◆写真内容 花植え・水やりなどの作業風景写真、花が咲いている写真ひとり(1団体)3点まで応募できます。【出品料無料】
- ◆表彰式・賞 青少年育成拡大会議にて表彰(12月予定)  
入選作品(数点)には、表彰状と副賞を贈呈
- ◆その他 応募作品の作品展開催  
応募された写真は、市広報誌やホームページ等で紹介することがありますので、あらかじめご了承ください。

主催・協力 加子母むらづくり協議会・加子母花づくり会議

提出先・お問合せ 加子母総合事務所 電話 0573-79-2111

### 図書室だより

加子母図書室はクーリングシェルターです

クーリングシェルターとは、極端な高温時に暑さをしのぐために休憩できる施設のことです。

暑い日は、涼しい図書室でお気に入りの本をみつけてみませんか。

#### 【9月のおすすめ図書】

##### ■トマト(著:荒井真紀)

トマトの成長の過程が美しく、とても繊細なタッチで描かれています。

小さな種が実になるまでや、トマトの種類、そしておいしいトマト料理が紹介された、子どもから大人まで楽しめる絵本となっています。

##### ■世界史探偵コナン シーズンII 1巻、2巻(著:青山剛昌)

「世界史探偵コナン」がシーズンIIに突入!

舞台は世界の歴史。コナンと少年たちは謎と真実を求めて旅に出ます。はたして彼らは無事に歴史冒険を終えることができるのか!? はじめて読む人も楽しめる“歴史的エンターテインメントマンガ”です。

##### ■志麻さんのレシピノート(著:タサン志麻)

テレビでもお馴染み・伝説の家政婦 志麻さんの初となるフランスの家庭料理だけを集めたイラストレシピブック!何度でも作り続けたシンプルなフランスの家庭料理が詰まっています。

##### ■TOKYO名建築案内(著:山内貴範)

東京にある国宝・重要文化財80件以上を綺麗な写真と歴史の解説で紹介!

あらためて東京を再発見でき建築鑑賞を楽しむことができます。

##### ■35年目のラブレター(著:小倉孝保)

小学校2年生の途中から学校に通っていなかったため読み書きが出来なかった西畑さんは、還暦を過ぎて夜間中学校に通うことを決めた。それは長年連れ添ってくれた妻に感謝のラブレターを書くためでした。感動の1冊がノンフィクションに!

加子母の人口と世帯数(令和6年8月1日現在)

世帯数:944世帯 男:1,162人 女:1,197人 計:2,359人